

平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 滋賀県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	総合病院	2
-	小児保健医療センター	3
-	精神医療センター	4
大津市	大津市民病院	5
彦根市	彦根市立病院	6
長浜市	市立長浜病院	7
長浜市	長浜市立湖北病院	8
近江八幡市	近江八幡市立総合医療センター	9
守山市	守山市民病院	10
甲賀市	信楽中央病院	11
野洲市	市立野洲病院	12
高島市	高島市民病院	13
東近江市	東近江市立能登川病院	14
公立甲賀病院組合（事業会計分）	公立甲賀病院	15

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	滋賀県
				市町村・組合名	
				病院名	総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	90,746 m ²	指定病院の状況	救臨が 地		
診療科数	30	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	535	81.5	77.8	78.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	535	81.5	77.8	78.3
平均在院日数（一般病床のみ）		14.5	14.4	13.9

設立団体の状況		
人口（人）	1,412,916	
決算規模（千円）	511,088,934	
標準財政規模（千円）	332,107,763	
財政力指数	0.56535	
経常収支比率（%）	92.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.6
	将来負担比率（%）	200.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	85.5
修正医業収支金額（千円）	14,370,331

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,364,735			
1 経常収益	17,229,867			
(1) 医業収益	15,111,711			
入院収益	9,938,505			
外来収益	4,174,667			
診療収入計	14,113,172			
その他医業収益	998,539			
(うち他会計負担金)	741,380			
(2) 医業外収益	2,118,156			
(うち国・都道府県補助金)	36,729			
(うち他会計補助・負担金)	1,112,922			
(うち長期前受金戻入)	129,775			
(うち資本費繰入収益)	615,512			
(3) 特別利益	134,868			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,727,226			
2 経常費用	17,727,226			
(1) 医業費用	16,810,948			
職員給与費	7,278,012	48.2	56.0	49.8
材料費	4,494,129	29.7	24.1	28.0
(うち薬品費)	2,296,947	15.2	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,197,182	14.5	11.1	12.8
減価償却費	1,785,383	11.8	9.2	8.3
経費	3,102,484	20.5	23.2	20.7
(うち委託料)	1,150,167	7.6	11.3	11.4
研究研修費	93,519			
資産減耗費	57,421			
(2) 医業外費用	916,278			
(うち支払利息)	253,482	1.7	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-497,359			
純損益	-362,491			
累積欠損金	16,850,816			
経常収支比率	97.2		98.2	99.5
医業収支比率	89.9		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	86.7		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	40,014,023
1 固定資産	31,712,874
(1) 有形固定資産	30,645,446
(2) 無形固定資産	5,411
(3) 投資その他の資産	1,062,017
2 流動資産	8,301,149
(1) 現金及び預金	4,924,360
(2) 未収金及び未収収益	3,314,245
(3) 貸倒引当金（ ）	23,103
(4) 貯蔵品	85,647
3 繰延資産	-
負債合計	34,092,676
1 固定負債	26,692,256
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,771,947
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,920,309
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,866,759
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,726,644
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	643,522
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,375,281
(9) 前受金及び前受収益	40,179
3 繰延収益	2,533,661
(1) 長期前受金	4,526,824
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,993,163
資本合計	5,921,347
1 資本金	16,415,091
2 剰余金	-10,493,744
(1) 資本金剰余金	6,157,628
(2) 利益剰余金	-16,651,372
負債・資本合計	40,014,023
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,854,302	1,854,302
資本勘定繰入	636,005	636,005
計	2,490,307	2,490,307

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	87.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	滋賀県
				市町村・組合名	
				病院名	小児保健医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,970 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	9	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	100	67.2	66.2	73.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	67.2	66.2	73.2
平均在院日数（一般病床のみ）		8.7	10.3	11.3

設立団体の状況		
人口（人）	1,412,916	
決算規模（千円）	511,088,934	
標準財政規模（千円）	332,107,763	
財政力指数	0.56535	
経常収支比率（%）	92.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.6
	将来負担比率（%）	200.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	74.3
修正医業収支金額（千円）	2,353,489

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,131,307			
1 経常収益	3,123,288			
(1) 医業収益	2,661,033			
入院収益	1,510,236			
外来収益	772,912			
診療収入計	2,283,148			
その他医業収益	377,885			
(うち他会計負担金)	307,544			
(2) 医業外収益	462,255			
(うち国・都道府県補助金)	8,690			
(うち他会計補助・負担金)	349,440			
(うち長期前受金戻入)	7,968			
(うち資本費繰入収益)	60,979			
(3) 特別利益	8,019			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,271,009			
2 経常費用	3,271,009			
(1) 医業費用	3,167,412			
職員給与費	1,449,381	54.5	56.0	61.8
材料費	581,865	21.9	24.1	17.7
(うち薬品費)	381,189	14.3	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	188,885	7.1	11.1	8.2
減価償却費	159,639	6.0	9.2	10.4
経費	951,654	35.8	23.2	29.9
(うち委託料)	220,229	8.3	11.3	12.9
研究研修費	14,890			
資産減耗費	9,983			
(2) 医業外費用	103,597			
(うち支払利息)	3,053	0.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-147,721			
純損益	-139,702			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.5		98.2	96.7
医業収支比率	84.0		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.0		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	24.7		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	21.0		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	75.4		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	40,014,023
1 固定資産	31,712,874
(1) 有形固定資産	30,645,446
(2) 無形固定資産	5,411
(3) 投資その他の資産	1,062,017
2 流動資産	8,301,149
(1) 現金及び預金	4,924,360
(2) 未収金及び未収収益	3,314,245
(3) 貸倒引当金（ ）	23,103
(4) 貯蔵品	85,647
3 繰延資産	-
負債合計	34,092,676
1 固定負債	26,692,256
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,771,947
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,920,309
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,866,759
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,726,644
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	643,522
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,375,281
(9) 前受金及び前受収益	40,179
3 繰延収益	2,533,661
(1) 長期前受金	4,526,824
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,993,163
資本合計	5,921,347
1 資本金	16,415,091
2 剰余金	-10,493,744
(1) 資本剰余金	6,157,628
(2) 利益剰余金	-16,651,372
負債・資本合計	40,014,023
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	656,984	656,984
資本勘定繰入	62,432	62,432
計	719,416	719,416

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	87.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	滋賀県
				市町村・組合名	
				病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,398 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	4	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	123	78.7	79.3	75.7
感染症	-	-	-	-
計	123	78.7	79.3	75.7
平均在院日数（一般病床のみ）				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	1,412,916	
決算規模（千円）	511,088,934	
標準財政規模（千円）	332,107,763	
財政力指数	0.56535	
経常収支比率（%）	92.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.6
	将来負担比率（%）	200.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	62.4
修正医業収支金額（千円）	1,199,531

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,019,344			
1 経常収益	2,013,139			
(1) 医業収益	1,315,873			
入院収益	957,709			
外来収益	219,755			
診療収入計	1,177,464			
その他医業収益	138,409			
(うち他会計負担金)	116,342			
(2) 医業外収益	697,266			
(うち国・都道府県補助金)	1,795			
(うち他会計補助・負担金)	517,743			
(うち長期前受金戻入)	67,626			
(うち資本費繰入収益)	69,247			
(3) 特別利益	6,205			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,984,799			
2 経常費用	1,984,799			
(1) 医業費用	1,921,200			
職員給与費	1,272,751	96.7	56.0	96.0
材料費	105,013	8.0	24.1	8.6
(うち薬品費)	87,266	6.6	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,712	1.3	11.1	1.0
減価償却費	174,890	13.3	9.2	12.5
経費	362,196	27.5	23.2	34.0
(うち委託料)	190,920	14.5	11.3	16.5
研究研修費	4,992			
資産減耗費	1,358			
(2) 医業外費用	63,599			
(うち支払利息)	21,379	1.6	1.6	3.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	28,340			
純損益	34,545			
累積欠損金	253,774			
経常収支比率	101.4		98.2	100.0
医業収支比率	68.5		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	31.5		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	48.2		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	31.4		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	69.5		86.0	66.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	40,014,023
1 固定資産	31,712,874
(1) 有形固定資産	30,645,446
(2) 無形固定資産	5,411
(3) 投資その他の資産	1,062,017
2 流動資産	8,301,149
(1) 現金及び預金	4,924,360
(2) 未収金及び未収収益	3,314,245
(3) 貸倒引当金（ ）	23,103
(4) 貯蔵品	85,647
3 繰延資産	-
負債合計	34,092,676
1 固定負債	26,692,256
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,771,947
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,920,309
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,866,759
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,726,644
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	643,522
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,375,281
(9) 前受金及び前受収益	40,179
3 繰延収益	2,533,661
(1) 長期前受金	4,526,824
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,993,163
資本合計	5,921,347
1 資本金	16,415,091
2 剰余金	-10,493,744
(1) 資本剰余金	6,157,628
(2) 利益剰余金	-16,651,372
負債・資本合計	40,014,023
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	634,085	634,085
資本勘定繰入	69,431	69,431
計	703,516	703,516

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	87.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	滋賀県
	市町村・組合名	大津市
	病院名	大津市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	82.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	81.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	11.0

設立団体の状況		
人口(人)	340,973	
決算規模(千円)	120,556,614	
標準財政規模(千円)	69,382,038	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.2
	将来負担比率(%)	6.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	248,096			
1 経常収益	248,096			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	248,096			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	84,156			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	248,096			
2 経常費用	248,096			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.3	9.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	248,096			
(うち支払利息)	248,096	-	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.3
医業収支比率	-		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	33.9		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	33.9		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	66.1		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	84,156
資本勘定繰入	-	285,829
計	-	369,985

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	滋賀県
	市町村・組合名	彦根市
	病院名	彦根市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	37,772 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	424	79.5	78.1	71.2
療養	-	-	-	-
結核	10	6.1	4.9	3.7
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	438	77.1	75.7	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	13.2	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	113,679	
決算規模(千円)	43,842,071	
標準財政規模(千円)	24,431,147	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	53.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.9
修正医業収支金額(千円)	11,022,646

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,975,886			
1 経常収益	11,975,886			
(1) 医業収益	11,104,815			
入院収益	7,387,087			
外来収益	3,316,317			
診療収入計	10,703,404			
その他医業収益	401,411			
(うち他会計負担金)	82,169			
(2) 医業外収益	871,071			
(うち国・都道府県補助金)	32,316			
(うち他会計補助・負担金)	581,567			
(うち長期前受金戻入)	81,021			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,433,556			
2 経常費用	12,029,029			
(1) 医業費用	11,262,932			
職員給与費	5,704,424	51.4	56.0	54.1
材料費	2,854,592	25.7	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,531,539	13.8	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,323,053	11.9	11.1	12.3
減価償却費	795,752	7.2	9.2	8.3
経費	1,834,673	16.5	23.2	19.0
(うち委託料)	1,067,400	9.6	11.3	9.1
研究研修費	23,154			
資産減耗費	50,337			
(2) 医業外費用	766,097			
(うち支払利息)	188,608	1.7	1.6	1.5
(3) 特別損失	404,527			
損益				
経常損益	-53,143			
純損益	-457,670			
累積欠損金	12,704,711			
経常収支比率	99.6		98.2	99.3
医業収支比率	98.6		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	5.5		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	94.0		86.0	89.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,551,797
1 固定資産	13,152,878
(1) 有形固定資産	12,802,909
(2) 無形固定資産	181,793
(3) 投資その他の資産	168,176
2 流動資産	2,398,919
(1) 現金及び預金	415,595
(2) 未収金及び未収収益	1,890,802
(3) 貸倒引当金()	6,826
(4) 貯蔵品	95,306
3 繰延資産	-
負債合計	14,370,500
1 固定負債	11,087,994
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,688,352
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	81,442
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,066,413
(7) リース債務	251,787
2 流動負債	2,256,912
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	951,437
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	6,695
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	381,009
(6) リース債務	193,790
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	713,636
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,025,594
(1) 長期前受金	1,689,948
(2) 長期前受金収益化累計額()	664,354
資本合計	1,181,297
1 資本金	13,564,016
2 剰余金	-12,382,719
(1) 資本金剰余金	321,992
(2) 利益剰余金	-12,704,711
負債・資本合計	15,551,797
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	676,096	663,736
資本勘定繰入	620,605	976,445
計	1,296,701	1,640,181

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	27,899	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	滋賀県
				市町村・組合名	長浜市
				病院名	市立長浜病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	47,436 m ²	指定病院の状況	救臨が地輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	496	63.5	63.7	65.2
療養	104	58.5	50.7	57.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	600	62.6	61.5	63.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	13.1	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	118,193	
決算規模(千円)	57,158,852	
標準財政規模(千円)	33,774,455	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.1
修正医業収支金額(千円)	11,948,730

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,035,337			
1 経常収益	13,035,337			
(1) 医業収益	11,995,206			
入院収益	8,047,043			
外来収益	3,714,456			
診療収入計	11,761,499			
その他医業収益	233,707			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	1,040,131			
(うち国・都道府県補助金)	24,315			
(うち他会計補助・負担金)	740,632			
(うち長期前受金戻入)	48,574			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,754,354			
2 経常費用	13,754,354			
(1) 医業費用	12,978,460			
職員給与費	6,639,615	55.4	56.0	49.8
材料費	3,368,310	28.1	24.1	28.0
(うち薬品費)	1,633,284	13.6	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,638,404	13.7	11.1	12.8
減価償却費	799,563	6.7	9.2	8.3
経費	2,019,947	16.8	23.2	20.7
(うち委託料)	672,929	5.6	11.3	11.4
研究研修費	32,763			
資産減耗費	118,262			
(2) 医業外費用	775,894			
(うち支払利息)	213,629	1.8	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-719,017			
純損益	-719,017			
累積欠損金	6,294,951			
経常収支比率	94.8		98.2	99.5
医業収支比率	92.4		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.6		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	6.0		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	89.0		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,779,845
1 固定資産	16,126,208
(1) 有形固定資産	15,759,960
(2) 無形固定資産	1,852
(3) 投資その他の資産	364,396
2 流動資産	7,653,637
(1) 現金及び預金	3,760,537
(2) 未収金及び未収収益	2,744,581
(3) 貸倒引当金()	10,335
(4) 貯蔵品	58,994
3 繰延資産	-
負債合計	19,374,750
1 固定負債	13,714,733
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,264,379
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,450,354
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,610,388
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,433,832
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	560,863
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,352,463
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,049,629
(1) 長期前受金	3,156,201
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,106,572
資本合計	4,405,095
1 資本金	10,228,408
2 剰余金	-5,823,313
(1) 資本金剰余金	73,871
(2) 利益剰余金	-5,897,184
負債・資本合計	23,779,845
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	787,108	787,108
資本勘定繰入	606,741	430,323
計	1,393,849	1,217,431

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	滋賀県
				市町村・組合名	長浜市
				病院名	長浜市立湖北病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	14,159 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	18	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	83	63.6	68.8	61.7
療養	57	78.4	78.8	79.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	69.1	72.5	68.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	14.1	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	118,193	
決算規模(千円)	57,158,852	
標準財政規模(千円)	33,774,455	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.3
修正医業収支金額(千円)	2,132,751

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,666,719			
1 経常収益	2,644,477			
(1) 医業収益	2,254,670			
入院収益	1,192,470			
外来収益	810,135			
診療収入計	2,002,605			
その他医業収益	252,065			
(うち他会計負担金)	121,919			
(2) 医業外収益	389,807			
(うち国・都道府県補助金)	5,280			
(うち他会計補助・負担金)	239,056			
(うち長期前受金戻入)	46,040			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,242			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,891,426			
2 経常費用	2,869,184			
(1) 医業費用	2,760,412			
職員給与費	1,684,260	74.7	56.0	61.8
材料費	361,919	16.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	183,880	8.2	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	153,747	6.8	11.1	8.2
減価償却費	222,614	9.9	9.2	10.4
経費	479,157	21.3	23.2	29.9
(うち委託料)	270,887	12.0	11.3	12.9
研究研修費	5,987			
資産減耗費	6,475			
(2) 医業外費用	108,772			
(うち支払利息)	25,653	1.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	22,242			
損益				
経常損益	-224,707			
純損益	-224,707			
累積欠損金	1,083,533			
経常収支比率	92.2		98.2	96.7
医業収支比率	81.7		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	16.0		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	13.5		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	79.6		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,779,845
1 固定資産	16,126,208
(1) 有形固定資産	15,759,960
(2) 無形固定資産	1,852
(3) 投資その他の資産	364,396
2 流動資産	7,653,637
(1) 現金及び預金	3,760,537
(2) 未収金及び未収収益	2,744,581
(3) 貸倒引当金()	10,335
(4) 貯蔵品	58,994
3 繰延資産	-
負債合計	19,374,750
1 固定負債	13,714,733
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,264,379
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,450,354
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,610,388
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,433,832
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	560,863
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,352,463
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,049,629
(1) 長期前受金	3,156,201
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,106,572
資本合計	4,405,095
1 資本金	10,228,408
2 剰余金	-5,823,313
(1) 資本金剰余金	73,871
(2) 利益剰余金	-5,897,184
負債・資本合計	23,779,845
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	375,993	360,975
資本勘定繰入	103,389	35,306
計	479,382	396,281

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	滋賀県
		市町村・組合名	近江八幡市
		病院名	近江八幡市立総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	32,937 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪
診療科数	20	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	403	92.0	93.2	89.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	407	91.1	92.2	88.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.0	9.6	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	81,312	
決算規模(千円)	35,603,020	
標準財政規模(千円)	18,251,741	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,439,172			
1 経常収益	13,439,172			
(1) 医業収益	12,819,171			
入院収益	8,928,182			
外来収益	3,302,172			
診療収入計	12,230,354			
その他医業収益	588,817			
(うち他会計負担金)	257,387			
(2) 医業外収益	620,001			
(うち国・都道府県補助金)	29,343			
(うち他会計補助・負担金)	393,201			
(うち長期前受金戻入)	43,811			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,112,721			
2 経常費用	13,112,721			
(1) 医業費用	12,330,940			
職員給与費	6,336,838	49.4	56.0	54.1
材料費	3,253,934	25.4	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,716,214	13.4	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,537,720	12.0	11.1	12.3
減価償却費	861,450	6.7	9.2	8.3
経費	1,825,261	14.2	23.2	19.0
(うち委託料)	1,237,939	9.7	11.3	9.1
研究研修費	48,804			
資産減耗費	4,653			
(2) 医業外費用	781,781			
(うち支払利息)	204,549	1.6	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	326,451			
純損益	326,451			
累積欠損金	3,750,594			
経常収支比率	102.5		98.2	99.3
医業収支比率	104.0		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	5.1		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	97.5		86.0	89.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,729,558
1 固定資産	13,743,471
(1) 有形固定資産	13,378,310
(2) 無形固定資産	4,051
(3) 投資その他の資産	361,110
2 流動資産	6,986,087
(1) 現金及び預金	4,811,131
(2) 未収金及び未収収益	2,132,524
(3) 貸倒引当金()	2,273
(4) 貯蔵品	44,705
3 繰延資産	-
負債合計	15,706,428
1 固定負債	12,927,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,675,509
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,251,712
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,272,940
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	814,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	336,879
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,082,529
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	506,267
(1) 長期前受金	1,054,138
(2) 長期前受金収益化累計額()	547,871
資本合計	5,023,130
1 資本金	8,771,432
2 剰余金	-3,748,302
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,748,302
負債・資本合計	20,729,558
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	101.9
修正医業収支金額(千円)	12,561,784

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	650,588	650,588
資本勘定繰入	461,980	461,980
計	1,112,568	1,112,568

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	滋賀県
	市町村・組合名	守山市
	病院名	守山市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	111	71.1	78.3	81.9
療養	88	83.1	87.9	90.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	76.4	82.6	85.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	19.7	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	79,859	
決算規模(千円)	28,007,347	
標準財政規模(千円)	16,511,607	
財政力指数	0.86	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.9
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,568 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	598,668			
1 経常収益	506,634			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	506,634			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	375,072			
(うち長期前受金戻入)	106,744			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	92,034			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	457,830			
2 経常費用	399,996			
(1) 医業費用	311,215			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	197,013	-	9.2	10.4
経費	38,760	-	23.2	29.9
(うち委託料)	1,376	-	11.3	12.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	75,442	-	-	-
(2) 医業外費用	88,781			
(うち支払利息)	41,735	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	57,834			
損益				
経常損益	106,638			
純損益	140,838			
累積欠損金	2,251,326			
経常収支比率	126.7		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	74.0		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	62.7		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	32.9		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,085,659
1 固定資産	3,208,721
(1) 有形固定資産	3,194,653
(2) 無形固定資産	1,380
(3) 投資その他の資産	12,688
2 流動資産	876,938
(1) 現金及び預金	599,339
(2) 未収金及び未収収益	279,460
(3) 貸倒引当金()	2,048
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,111,909
1 固定負債	2,471,476
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,888,876
(2) その他の企業債	582,600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,125,770
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	268,134
(2) その他の企業債	194,200
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	500,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,436
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	514,663
(1) 長期前受金	3,116,360
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,601,697
資本合計	-26,250
1 資本金	2,202,742
2 剰余金	-2,228,992
(1) 資本剰余金	22,334
(2) 利益剰余金	-2,251,326
負債・資本合計	4,085,659
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	26,250
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	27,150	375,072
資本勘定繰入	158,097	162,095
計	185,247	537,167

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	563,298
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	滋賀県
	市町村・組合名	甲賀市
	病院名	信楽中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,244 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	7	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	53.8	57.3	54.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	53.8	57.3	54.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	21.3	20.6

設立団体の状況		
人口(人)	90,901	
決算規模(千円)	41,409,766	
標準財政規模(千円)	24,807,309	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	59.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.2
修正医業収支金額(千円)	458,791

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	676,978			
1 経常収益	667,569			
(1) 医業収益	499,856			
入院収益	204,925			
外来収益	217,834			
診療収入計	422,759			
その他医業収益	77,097			
(うち他会計負担金)	41,065			
(2) 医業外収益	167,713			
(うち国・都道府県補助金)	966			
(うち他会計補助・負担金)	144,094			
(うち長期前受金戻入)	17,814			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,409			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	744,743			
2 経常費用	741,039			
(1) 医業費用	714,467			
職員給与費	498,055	99.6	56.0	81.3
材料費	81,566	16.3	24.1	14.4
(うち薬品費)	54,461	10.9	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,948	4.2	11.1	5.1
減価償却費	40,090	8.0	9.2	13.4
経費	91,903	18.4	23.2	47.5
(うち委託料)	52,747	10.6	11.3	20.0
研究研修費	746			
資産減耗費	2,107			
(2) 医業外費用	26,572			
(うち支払利息)	10,656	2.1	1.6	1.4
(3) 特別損失	3,704			
損益				
経常損益	-73,470			
純損益	-67,765			
累積欠損金	630,650			
経常収支比率	90.1		98.2	96.3
医業収支比率	70.0		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.7		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	37.0		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	27.4		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	65.1		86.0	64.8

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,192,319
1 固定資産	956,349
(1) 有形固定資産	956,349
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	235,970
(1) 現金及び預金	147,027
(2) 未収金及び未収収益	86,552
(3) 貸倒引当金()	1,247
(4) 貯蔵品	3,638
3 繰延資産	-
負債合計	1,069,949
1 固定負債	556,797
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	549,156
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,641
(7) リース債務	-
2 流動負債	108,915
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,971
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,441
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,882
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	404,237
(1) 長期前受金	545,548
(2) 長期前受金収益化累計額()	141,311
資本合計	122,370
1 資本金	261,195
2 剰余金	-138,825
(1) 資本金剰余金	460,319
(2) 利益剰余金	-599,144
負債・資本合計	1,192,319
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	146,795	185,159
資本勘定繰入	34,942	34,942
計	181,737	220,101

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	126.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	滋賀県
		市町村・組合名	野洲市
		病院名	市立野洲病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	-
DPC対象病院	-	類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	49,889	
決算規模(千円)	19,406,748	
標準財政規模(千円)	12,228,670	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	56.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,893			
1 経常収益	4,893			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,893			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	4,893			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,893			
2 経常費用	4,893			
(1) 医業費用	4,689			
職員給与費	-	-	56.0	-
材料費	-	-	24.1	-
(うち薬品費)	-	-	12.6	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	-
減価償却費	-	-	9.2	-
経費	4,689	-	23.2	-
(うち委託料)	-	-	11.3	-
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	204			
(うち支払利息)	204	-	1.6	-
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	100.0
医業収支比率	-		88.3	-
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.5	100.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	-
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.5	100.0
実質収益対経常費用比率	-		86.0	-

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,280,121
1 固定資産	1,169,152
(1) 有形固定資産	1,169,152
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	110,969
(1) 現金及び預金	56,132
(2) 未収金及び未収収益	4,948
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,152,513
1 固定負債	1,137,100
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,087,100
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	50,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	15,413
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,213
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,200
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	127,608
1 資本金	75,594
2 剰余金	52,014
(1) 資本剰余金	52,013
(2) 利益剰余金	1
負債・資本合計	1,280,121
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	4,893
資本勘定繰入	34,324	68,648
計	34,324	73,541

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	滋賀県
	市町村・組合名	高島市
	病院名	高島市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,789 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
診療科数	18	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	206	83.8	82.9	84.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	210	82.3	81.3	82.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	14.2	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	50,025	
決算規模(千円)	30,314,423	
標準財政規模(千円)	16,718,585	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	31.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.0
修正医業収支金額(千円)	4,240,222

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,074,621			
1 経常収益	5,073,834			
(1) 医業収益	4,408,625			
入院収益	2,615,452			
外来収益	1,410,121			
診療収入計	4,025,573			
その他医業収益	383,052			
(うち他会計負担金)	168,403			
(2) 医業外収益	665,209			
(うち国・都道府県補助金)	20,233			
(うち他会計補助・負担金)	464,563			
(うち長期前受金戻入)	145,708			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	787			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,166,375			
2 経常費用	5,084,251			
(1) 医業費用	4,928,959			
職員給与費	2,488,911	56.5	56.0	59.3
材料費	839,377	19.0	24.1	19.3
(うち薬品費)	435,507	9.9	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	360,865	8.2	11.1	9.2
減価償却費	365,289	8.3	9.2	10.3
経費	1,217,278	27.6	23.2	27.6
(うち委託料)	467,760	10.6	11.3	12.3
研究研修費	14,569			
資産減耗費	3,535			
(2) 医業外費用	155,292			
(うち支払利息)	27,221	0.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	82,124			
損益				
経常損益	-10,417			
純損益	-91,754			
累積欠損金	3,146,648			
経常収支比率	99.8		98.2	96.7
医業収支比率	89.4		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	87.3		86.0	83.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,497,530
1 固定資産	5,077,021
(1) 有形固定資産	4,966,977
(2) 無形固定資産	1,913
(3) 投資その他の資産	108,131
2 流動資産	1,420,509
(1) 現金及び預金	601,314
(2) 未収金及び未収収益	787,666
(3) 貸倒引当金()	880
(4) 貯蔵品	30,622
3 繰延資産	-
負債合計	3,768,400
1 固定負債	1,569,692
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,569,692
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	442,958
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	68,075
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	156,730
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	216,423
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,755,750
(1) 長期前受金	3,160,792
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,405,042
資本合計	2,729,130
1 資本金	5,537,677
2 剰余金	-2,808,547
(1) 資本剰余金	338,101
(2) 利益剰余金	-3,146,648
負債・資本合計	6,497,530
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	649,549	632,966
資本勘定繰入	16,702	28,702
計	666,251	661,668

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	滋賀県
	市町村・組合名	東近江市
	病院名	東近江市立能登川病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,203 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	102	65.6	70.8	63.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	102	65.6	70.8	63.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	16.9	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	114,180	
決算規模(千円)	49,036,592	
標準財政規模(千円)	30,033,038	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	175,951			
1 経常収益	175,951			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	175,951			
(うち国・都道府県補助金)	2,993			
(うち他会計補助・負担金)	162,371			
(うち長期前受金戻入)	10,455			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	169,732			
2 経常費用	169,732			
(1) 医業費用	119,623			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	78,214	-	9.2	10.4
経費	6,729	-	23.2	29.9
(うち委託料)	1,050	-	11.3	12.9
研究研修費	-	-		
資産減耗費	34,680			
(2) 医業外費用	50,109			
(うち支払利息)	45,534	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	6,219			
純損益	6,219			
累積欠損金	176,918			
経常収支比率	103.7		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	92.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	92.3		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	8.0		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,399,080
1 固定資産	2,223,124
(1) 有形固定資産	2,183,588
(2) 無形固定資産	3,295
(3) 投資その他の資産	36,241
2 流動資産	175,956
(1) 現金及び預金	170,431
(2) 未収金及び未収収益	6,140
(3) 貸倒引当金()	616
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,577,042
1 固定負債	1,235,364
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,230,505
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,859
(7) リース債務	-
2 流動負債	178,016
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	153,612
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,404
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	163,662
(1) 長期前受金	376,126
(2) 長期前受金収益化累計額()	212,464
資本合計	822,038
1 資本金	992,956
2 剰余金	-170,918
(1) 資本金剰余金	6,000
(2) 利益剰余金	-176,918
負債・資本合計	2,399,080
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	30,298	162,371
資本勘定繰入	104,012	26,629
計	134,310	189,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	滋賀県
	市町村・組合名	公立甲賀病院組合(事業会計分)
	病院名	公立甲賀病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,343 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	32	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	409	82.4	87.4	79.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	413	81.6	86.5	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	11.4	11.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.3
修正医業収支金額(千円)	9,006,962

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,656,791			
1 経常収益	10,198,577			
(1) 医業収益	9,190,167			
入院収益	5,662,596			
外来収益	2,941,620			
診療収入計	8,604,216			
その他医業収益	585,951			
(うち他会計負担金)	183,205			
(2) 医業外収益	1,008,410			
(うち国・都道府県補助金)	31,571			
(うち他会計補助・負担金)	535,466			
(うち長期前受金戻入)	163,727			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,458,214			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,137,051			
2 経常費用	10,902,421			
(1) 医業費用	10,089,348			
職員給与費	5,459,559	59.4	56.0	54.1
材料費	2,032,352	22.1	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,161,721	12.6	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	785,992	8.6	11.1	12.3
減価償却費	878,412	9.6	9.2	8.3
経費	1,655,514	18.0	23.2	19.0
(うち委託料)	870,946	9.5	11.3	9.1
研究研修費	46,884			
資産減耗費	16,627			
(2) 医業外費用	813,073			
(うち支払利息)	126,305	1.4	1.6	1.5
(3) 特別損失	4,234,630			
損益				
経常損益	-703,844			
純損益	-1,480,260			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.5		98.2	99.3
医業収支比率	91.1		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	87.0		86.0	89.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,680,917
1 固定資産	11,887,137
(1) 有形固定資産	11,741,195
(2) 無形固定資産	7,842
(3) 投資その他の資産	138,100
2 流動資産	8,793,780
(1) 現金及び預金	3,689,140
(2) 未収金及び未収収益	5,038,504
(3) 貸倒引当金()	70,681
(4) 貯蔵品	136,816
3 繰延資産	-
負債合計	13,978,330
1 固定負債	10,959,933
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,696,572
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,262,371
(7) リース債務	990
2 流動負債	2,120,158
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	287,628
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	321,725
(6) リース債務	4,697
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,464,088
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	898,239
(1) 長期前受金	2,954,565
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,056,326
資本合計	6,702,587
1 資本金	4,099,388
2 剰余金	2,603,199
(1) 資本剰余金	1,890,242
(2) 利益剰余金	712,957
負債・資本合計	20,680,917
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	827,816	718,671
資本勘定繰入	181,354	98,886
計	1,009,170	817,557

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。